

## 第6学年2組 図画工作科学習指導案

児童数 22名  
指導者 教諭 熊本 由美子  
場所 図工室

### 1 題材 「行ってみたいなふしぎな世界・・・ようこそ6の2ワールド」

#### 2 題材について

「こんな世界があつたらいいな。」「こんな世界に行けたら・・・」と思いをめぐらすことは、児童にとってとても楽しいことである。その際、様々な表し方を試しながら多様な表現ができれば、児童の思いはますます広がっていくだろう。本題材は、コラージュ、貼り絵、水彩絵の具やパスを使ってできる様々な技法を試しながら、自分の写真も入れた「わたしの世界」を表現し、最後に個人の作品を持ち寄って組み合わせ、共同作品として仕上げる題材である。これまで取り組んだことがないコラージュ、貼り絵等の技法を児童に体験させることは、学習指導要領で新設された〔共通事項〕に記されている形や色、動きなどの造形的な特徴を捉えさせる上で大切なことである。また、絵の具やパスを使ってできる様々な技法(マーブリング、スパッタリング、スクラッチ、にじみ、ドリッピング等)を児童が試すことは、表現の幅を広げる上で重要なことである。これまで、個人製作の経験がほとんどだった児童が、地域の方々を楽しませる作品をつくるという共通の目的をもてば、「どんな組合せにしたら面白いと感じてくれるかな。」「この色だときれいだなと思ってくれるだろう。」など期待や思いを膨らませるであろう。また、個人の作品を組み合わせる活動を通して、自分や友達の作品の形や色、動きや奥行きなどに目を向け、そのよさや美しさなどに気付かせることもできる。個々人の作品を持ち寄ってダイナミックな作品に仕上げることで、つくりだす喜びを味わえると考え、本題材を設定した。

高学年の児童は、知的にも発達し、客観的にもものごとを見つめることができるようになっていく。しかし、その過程で、自分の発想に比べて技能や技術の未熟さに気付き、自信や表現意欲を失ってしまうことがある。だからこそ、その子らしい見方・感じ方・表し方のよさを見だし、そのよさを十分発揮させるような手立てが必要になってくる。

本学級の児童は、ほとんど(86%)が図画工作の学習を好きで、図画工作の時間を楽しみにしている。しかし、事前アンケートで「アイデアが浮かびますか。」という質問に対しては、約4割の児童が「浮かばない。」と回答した。また、「友達からアドバイスをもらって、うまくいったことがありますか。」の問いには、約8割の児童が「うまくいった。」と答えている。つまり、アイデアが浮かばなかったり、うまくできなかつたりしたときに、友達からのアドバイスが役に立っていることがうかがえる。そして、友達と一緒にいかたりつくったりすることが好きな児童が多かった(91%)ことから、共同製作に意欲的に取り組むと考えられる。

指導に当たっては、地域の公共施設「ゆうあい館」に作品を飾ってもらうことを伝え、「6の2の作品で地域の方々を楽しませよう。」と投げ掛け、児童の意欲を喚起したい。絵の具を使ってできる様々な技法やコラージュ等の技法を紹介する際は、実演したり参考作品を提示したりしながら、児童に「早くやってみたい。」という思いをもたせるようにする。そして、それらの方法を存分に楽しむ時間を「ひらめきタイム」として位置付け、その手助けとなる材料・用具コーナー(ひらめきコーナー)を充実させ、児童がイメージに合う材料・用具を選択できるように支援したい。また、製作過程に友達との交流活動を取り入れることによって、児童の発想を広げさせたい。製作過程に、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を視点とした話合い活動を「きらりタイム」として取り

入れる。「きらりタイム」では、互いの感じ方や表現のよさを認め合わせたり、いろいろな表し方があることに気付かせたりして、児童が自分の表現に生かせるようにしたい。

### 3 題材の目標

コラージュや貼り絵、水彩絵の具やパスを使ってできる様々な技法を試しながら、形や色などのよさや美しさを味わい、自分の思いに合った「わたしの世界」をつることができる。

### 4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
水彩絵の具、紙素材、布などを使った様々な表現方法に関心を持ち、自分の思いを表すことを楽しもうとしている。	「わたしの世界」のイメージを膨らませ、材料、用具、表現方法など表したいことを考えている。 グループでの話合いを手掛かりにして、材料、用具、表現方法などを新たに思い付いている。	いろいろな表現方法を試しながら、その特徴や組合せの感じを生かし、「わたしの世界」を工夫して表している。 自分や友達の作品の表現方法や材料の使い方などの工夫を見付け、自分の製作に生かして、表し方を工夫している。	形や色、動き、奥行きなどのよさや美しさなどに気付き、その特徴を捉えている。

### 5 指導計画(全6時間)

第1次 どんな「わたしの世界」にするか考え、構想を深める。(2時間)

第2次 いろいろな表現方法を試しながら、「わたしの世界」をつくる。(3時間)

第3次 各自の「わたしの世界」を持ち寄り、組合せを考えて構成する。(1時間)

### 6 本時の目標(第1時)

行ってみたい世界を想像し、「わたしの世界」のつくり方を考えることができる。＜発想や構想の能力＞

### 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準 備
導 入	1 参考作品を見て、製作への見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「福富の人を楽しませる6の2ワールドをつくらう。」と投げ掛け、意欲を喚起する。</li> <li>参考作品を提示し、製作の見通しをもたせる。</li> </ul>	
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">地域の人を楽しませるような「わたしの世界」を考えよう。</div> 2 行ってみたい世界を想像する。 3 「わたしの世界」づくりの計画を立てる。(ひらめきタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに思い付く世界をたくさん書くように促す。</li> <li>ワークシートにアイデアスケッチをさせ、「わたしの世界」を具体的に構想できるようにする。</li> <li>ひらめきコーナーとして、参考作品や写真</li> </ul>	参考作品 写真 ワークシート

		<p>などを用意し，児童の発想の広がりを助けるようにする。</p> <p>—【発想や構想の能力】—</p> <p>「わたしの世界」を具体的にイメージし，使ってみたい材料，用具，技法や表現方法などを思い付き，構想が膨らんでいる。</p> <p>「わたしの世界」を具体的にイメージし，材料，用具などを思い付いている。 (観察・ワークシート)</p> <p>参考作品や写真，ワークシートなどを活用して，いろいろな「わたしの世界」を考えさせる。</p>	
<p>ま と め</p>	<p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてが達成できたか自己評価をさせる。また，活動でよかったことを発表させて，活動を認め合わせ，自信をもたせる。</li> <li>・ 次時は，本時のアイデアスケッチを見直すことを知らせ，製作への意欲付けを図る。</li> </ul>	

## 6 本時の目標(第2時)

グループでの話し合いを手掛かりにして、アイデアスケッチを見直し、「わたしの世界」のつくり方を考えることができる。 <発想や構想の能力>

## 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準備
導 入	1 前時の学習を振り返り 本時のめあてを知る。	・ 前時の学習を想起させ、本時のめあてを確認させる。	ワークシート
	自分だけの「わたしの世界」になるように、アイデアスケッチを工夫しよう。		
展 開	2 きらりカードを基にグループで話し合い、思いを膨らませる。 (きらりタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師のアイデアスケッチを基に話し合わせることで、話し合いの進め方を理解させる。</li> <li>・ 話し合いは下記の視点で行わせ、児童の発想が広がるようにする。 形 色 イメージ</li> <li>・ 自分の作品について一人ずつ発表させ、その都度、他の児童は質問や感想を述べるように促し、発想の広がりを助けるようにする。</li> <li>・ 発想が広がらず、意見が言えない児童にはもう一度3つの視点を提示し、その視点を意識して発表を聞かせる。</li> </ul>	視点カード
	3 アイデアスケッチを見直し、新たに思い付いたことなどを付け加える。 (ひらめきタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「きらりタイム」を通して新たに思い付いたことをアイデアスケッチに付け加えるように促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">——【発想や構想の能力】——</p> <p>見付けた友達のよさやアドバイスから、「わたしの世界」を具体的にイメージし、使ってみたい材料、用具、技法や表現方法などを思い付き、構想が膨らんでいる。</p> <p>見付けた友達のよさやアドバイスから、「わたしの世界」を具体的にイメージし、使ってみたい材料、用具などを思い付いている。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> </div> <p>アイデアが浮かばない児童には、友達のアイデアをいくつか紹介し、それを参考にしてもよいことを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひらめきコーナーとして、参考作品などを準備し、発想の広がりを助けるようにする。</li> </ul>	

ま と め	4 本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてが達成できたか自己評価をさせる。</li> <li>また、活動でよかったことを発表させて、学習の成果を全体で共有することで、次時の学習への意欲付けを図る。</li> </ul>
	5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時から製作に取り掛かることを知らせ、製作への意欲を高める。</li> </ul>

## 6 本時の目標(第3時)

自分のイメージに合った方法を試しながら、「わたしの世界」のパーツをつくることを楽しむ。

<造形への関心・意欲・態度>

## 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準備
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時のめあてを知る。	・ アイデアスケッチがよく描けたことを称賛し、製作への意欲をもたせる。	
展 開	2 参考作品や写真を見ながら、 いろいろな表現技法について知る。	・ 提示した参考作品や写真に、どのような表現技法が使われているか考えさせ、いろいろな技法に興味をもたせる。 ・ コラージュ、貼り絵、マーブリング、スパッタリング、スクラッチなどの表現技法を提示する。	参考作品 写真 技法に関する 掲示物
	3 いろいろな表現方法を 試しながら、「わたしの 世界」のパーツをつくる。 (ひらめきタイム)	・ 自分のイメージに合った表現技法を試し、「わたしの世界」のパーツをつくることを確認する。 ・ 試した技法をうまく生かしている活動を称賛し、紹介して意欲をもたせる。	
		<p style="text-align: center;">【造形への関心・意欲・態度】</p> <p style="text-align: center;">いろいろな方法に積極的に取り組み、「わたしの世界」のパーツづくりが進んでいる。 いろいろな方法を試し、「わたしの世界」のパーツづくりをしている。 (観察、作品、ワークシート)</p> <p style="text-align: center;">児童と一緒に活動して、いろいろな表現技法の楽しさを知らせる。</p>	
ま と め	4 本時の活動を振り返る。	・ ひらめきコーナーとして、技法の手順を示した掲示物を用意し、児童の意欲を喚起する。 ・ めあてが達成できたか自己評価をさせたり、活動でよかったことや困ったこと等を記入させたりして、次時の学習への意欲付けを図る。	
	5 次時の学習内容を知る。	・ 次時は更に工夫して製作していくことを知らせる。	

## 6 本時の目標(第4時)

グループでの交流を手掛かりにして、新たに思い付いた方法を試しながら「わたしの世界」をつくるができる。＜創造的な技能＞

## 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準備
導 入	1 「きらりタイム」で友達の作品を見合い，製作への見通しをもつ。 (きらりタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫したことを紹介したり，困っていることについてアドバイスをもらったりさせることで，製作への意欲付けを図る。</li> <li>話し合いは，下記の視点で行わせ，児童の発想が広がるようにする。 形 色 イメージ</li> <li>これまでの活動を称賛し，みんなに「わたしの世界」がよく伝わるような工夫をすることを知らせる。</li> </ul>	視点カード
展 開	2 いろいろな表現方法を試しながら，自分のイメージに合った表現を追求する。 (ひらめきタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>試した表現を「わたしの世界」づくりに生かすことを確認する。</li> <li>画用紙にパーツを並べて，大小，位置関係，配色のバランス，背景との関係等を考えてつくるように促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【創造的な技能】</p> <p>いろいろな方法に取り組み，「わたしの世界」のイメージに合う新たな表現方法を見つけ，構成を考えながら工夫して製作している。</p> <p>いろいろな方法に取り組み，「わたしの世界」のイメージに合う表現を工夫している。</p> <p style="text-align: center;">(観察，作品，ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の活動を参考にさせたり，参考作品を見せたりして，表現の工夫に興味をもたせる。</li> <li>一人一人の活動を共感的に認めながら，一緒に活動して表現を工夫する楽しさを感じ取らせる。また，児童の思いを大切にした助言をして製作への意欲を高める。</li> <li>表現方法の効果を確かめることができるように，作品を少し離れた所から見るように助言する。</li> </ul>	参考作品

ま と め	3 本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてが達成できたか自己評価をさせる。</li> <li>また、活動でよかったことを発表させ、学習の成果を全体で共有することで、次時の学習への意欲付けを図る。</li> </ul>	ワークシート
	4 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時は、個人の作品を完成させることを知らせる。</li> </ul>	



## 6 本時の目標(第5時)

グループでの交流を手掛かりにして、新たに思い付いた方法を試しながら「わたしの世界」をつくることができる。 <創造的な技能>

## 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準備
導 入	1 「きらりタイム」で友達の作品を見合い、製作への見通しをもつ。 (きらりタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫したことを紹介したり、困っていることについてアドバイスをもらったりさせることで、製作への意欲付けを図る。</li> <li>話合いは、下記の視点で行わせ、児童の発想が広がるようにする。 形 色 イメージ</li> <li>これまでの活動を称賛し、みんなに「わたしの世界」がよく伝わるような工夫をすることを知らせる。</li> </ul>	視点カード
展 開	2 いろいろな表現方法を試しながら、自分のイメージに合った表現を追求する。 (ひらめきタイム)	<p>「わたしの世界」の様子がみんなに伝わるように、ぴったり合う方法を使ってつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試した表現を「わたしの世界」づくりに生かすことを確認する。</li> <li>「わたしの世界」のイメージに合う方法を使うことを確かめる。</li> <li>画用紙にパーツを並べて、大小、位置関係、配色のバランス、背景との関係等を考えてつくるように促す。</li> </ul> <p style="text-align: center;">【創造的な技能】</p> <p>見付けたよさやアドバイスを生かしているいろいろな方法を試し、「わたしの世界」のイメージに合う新たな表現方法を見付け、工夫して製作している。</p> <p>見付けたよさやアドバイスを生かして、「わたしの世界」のイメージに合う表現を工夫している。</p> <p style="text-align: center;">(観察, 作品, ワークシート)</p> <p>友達の活動を参考にさせたり、参考作品を見せたりして、表現の工夫に興味をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の活動を共感的に認めながら、一緒に活動して表現を工夫する楽しさを感じ取らせる。また、児童の思いを大切にした助言をして製作への意欲を高める。</li> <li>表現方法の効果を確かめることができるように、作品を少し離れた所から見るように助</li> </ul>	参考作品

ま と め	<p>3 本時の活動を振り返る。</p> <p>4 次時の学習内容を知る。</p>	<p>言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ めあてが達成できたか自己評価をさせる。また、活動でよかったことを発表させ、学習の成果を全体で共有することで、次時の学習への意欲付けを図る。</li> <li>・ 次時は、個人の作品を持ち寄って組み合わせ、6の2ワールドを完成させることを知らせる。</li> </ul>	ワークシート
-------------	---	---	--------

## 6 本時の目標(第6時)

形や色，作者の思いなど作品の特徴を捉えることができる。 <鑑賞の能力>

## 7 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価( : Aの判定基準 : Bの判定基準 : Cへの支援)	準備
導 入	1 「きらりタイム」で友 達の作品を見合う。 (きらりタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>形，色，イメージの視点で工夫したところを 発表させ，友達から「ほめほめカード」を 書いてもらうことで，自信をもたせるように する。</li> <li>これまでの製作活動を称賛し，本時のめあ てを知らせる。</li> </ul>	視点カード
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     形や色，作者の思いなどを考えてみんなの作品を組み合わせよう。                 </div> 2 どんな組合せ方がある か考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品の組合せ方を発表させ，組合せの 視点を示す。 形 色 イメージ 動き 奥行き</li> <li>全員に組合せについての考えを発表させ て，一人一人の意見が生かされるようにする。</li> </ul>	参考作品
	3 各自の作品を持ち寄っ て組み合わせる。 (ひらめきタイム)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">【鑑賞の能力】</p> <p>形や色，動きなどのよさや美しさをいく つか見付けて，作者の表現意図を感じ取り ながら組合せを考えている。</p> <p>形や色，動きなどのよさや美しさを見付 けて，組合せを考えている。</p> <p style="text-align: center;">(観察，作品，ワークシート)</p> </div> <p>作品の感想を聞き，見付けたよさで組合せ を考えるように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組合せの効果を確かめられるように，少し 離れた所から見ることを助言する。</li> </ul>	
ま と め	4 活動の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてが達成できたか自己評価をさせた り，活動でよかったことを発表させたりして， 自信をもたせる。</li> <li>これまでの活動を称賛し，次の製作への意 欲付けを図る。</li> </ul>	ワークシー ト